



第1章 武田の杜について

甲府市北部一帯に広がる森林公園

【設置経緯】

昭和48年（1973年）の置県100年を記念し、青少年やその他の県民に自然に親しむ環境を提供することにより、健康の増進及び豊かな情操のかん養を図るため設置

●平成25年（2013年）森林セラピー基地認定

●令和元年（2019年）武田の杜の一部が甲武信ユネスコエコパーク登録、武田の杜サービスセンター内にインフォメーションセンターを設置

●令和6年（2024年）マウンテンバイクコース供用開始

【施設概要】

正式名称：山梨県立武田の杜保健休養林

位置：甲府市山宮町片山3371（サービスセンター）

全体面積：2,500ha（うち健康の森195ha）

【主な施設】

健康の森内：サービスセンター、キャンプ場、バーベキュー場、遊歩道、

森林学習展示館、野鳥観察小屋、マウンテンバイクコース等

武田の杜全域：幹線遊歩道（23.6km）、鳥獣センター、樹木見本園

第2章 構想策定の背景

構想の背景

- 整備から50年以上の年月が経過し、一部を除いて施設の老朽化が進行
- 施設の更新や利用が低迷する施設の見直し、核となる施設・サービスの整備を進め、武田の杜の価値向上と周辺地域の活性化につなげることを目的として検討を実施

武田の杜の魅力

➢豊かな自然環境と優良な景観を有する森林公園であり、市街地に近い立地であるため、高い集客ポテンシャルを持っている。

➢広大な敷地に多くの遊歩道が整備され、森林セラピーや散策に利用できるほか、キャンプ場やバーベキュー施設、MTBコースといったアクティビティ施設も整備されており、気軽に野外レクリエーションを楽しめる。

課題

- ✓眺望などのポテンシャルを生かしきれていない。
- ✓成長した立木により、眺望が損なわれている場所がある。また、デッキなどが整備されておらず、雨天時に足元が悪くなる。
- ✓近年ヤマビル被害により、森林セラピーなどの利用に支障が出ている。
- ✓アクセスルートの一部は道幅が狭く、照明が未整備である。また、案内標識の設置も不十分である。
- ✓施設の老朽化が進み、改修等が必要である。
- ✓森林学習展示館の展示内容は、見直しが必要な時期に来ている。
- ✓情報発信が十分でない。

第3章 価値向上に向けた構想

コンセプト

森と共に創る未来

～特別な癒やしと体験を、武田の杜で～

重点視点1

観光資源としてのポテンシャル発揮

これまでの保健休養・学習施設としての機能に加え、豊かな森林環境を活用し、自然を保持しながら、観光スポットとしても訪れていただけるような機能の拡充を検討していきます。

- 誰もが快適に利用できるユニバーサル施設の整備（トイレ、水回り、ベンチなど）
- インバウンドにも対応した多言語表示（二次元コードによる翻訳サービス等の導入を検討）
- 伝統産業・歴史・文化資産との連携（連携ツアーの創出）

重点視点2

特別な体験を通じた差別化

抜群の眺望、夜景、森林セラピー、トレイルラン、野鳥観察などを体験できる強みを生かし、ハード・ソフトともに整備することで、観光スポットとしての独自性を確立していきます。

- 眺望の良さをより多くの人が安全快適に楽しめるよう施設を整備
- レストラン・カフェの導入など誘客に繋がる付加機能を検討
- 森林セラピー（森の癒やし）を提供するため、自然を通じた特別な体験を可能とする環境を整備
- その他、多くの人が自然や木に親しめる体験プログラムを充実し、合わせて地域と交流するイベントを企画

重点視点3

来園者誘客戦略の強化

情報発信を強化することで、今までの利用者に加え、新たな来園者を呼び込むなどして、何度も訪れたい施設を目指します。

- HPをリニューアルして内容を充実させるとともに、スマートフォンでの表示にも対応
- SNSを活用してイベント情報や四季の変化をリアルタイムに発信するとともに、武田の杜内の写真スポットや自然、多様な生物を紹介
- 既存媒体でのPRも強化し、森に癒やしを求める首都圏へPR
- 武田の杜へのアクセス道路についても整備を検討し、より来園しやすい環境を整備
- 老朽化した施設について、誰もが快適に利用できるように改修・更新し、展示内容についても見直し

重点視点4

相互補完の視点による地域連携

甲府市北部エリアの観光資源である湯村温泉・昇仙峡と連携し、互いにないものを補完することで観光の相乗効果を生み出します。

- 湯村温泉、昇仙峡と連携した森林セラピーツアーを提供
- 眺望を生かした連携プログラムやツアーを創出
- マウンテンバイクや、キャンプ、トレッキングなどのアクティビティを生かした連携を強化

重点視点5

自然に配慮した維持管理

武田の杜の主役はあくまで自然であり、その保全に留意しつつ長所を生かす施設の維持管理の検討を進めていきます。また、従来からの武田の杜の愛好家にも、より武田の杜に親しんでいただくため、施設の適切な維持管理を行います。

- ニーズに適した開園時間の柔軟な設定
- 森林浴・ハイキング客が安心できる案内標識と遊歩道の整備
- 老朽化施設の計画的な更新と修繕
- ヒル対策の研究と実施（デッキ整備によるヒルの回避等）



価値向上に向けた5つの重点視点

第4章 構想の実現に向けて

＜今後の取り組み方向＞

今後、地域の観光資源との相乗効果を生み出すことができるよう、広く民間事業者等の意見や提案を聞きながら、構想の具体化につなげていきます。

＜構想実現後の武田の杜＞

構想の実現により、武田の杜を多くの人が訪れるようになるだけでなく、周辺観光資源と連携する中で、地域の活性化に寄与します。

（実現後の姿）

- ◆癒やし・自然を求める人々が県内外から訪れる
- ◆眺望・森林を生かした武田の杜ならではのサービスを提供
- ◆甲府北部地域の観光スポットとして新たな人流を生む

甲府市北部エリアの高付加価値化へ